

令和元年度 第4回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

1 開催日時

令和2年3月23日（月） 10:00～12:00

2 開催場所

札幌市役所本庁舎 14階 入札室

3 出席者

(1) 委員

高野委員長、阿部委員、遠藤委員、武者委員

(2) 札幌市職員

財政局長、財政局管財部長、財政局工事管理室長、財政局工事契約担当課長、他2名

4 次第

(1) 開会

(2) 審議事項

抽出工事等の決定・審議（成績重視型入札について）

(3) その他

(4) 閉会

5 審議概要

(1) 審議事項

抽出工事等の決定・審議（成績重視型入札について）

【委員】 型式を3年型に一本化した場合、札幌市側の業務量は減少するの
か。

【札幌市】 ある程度は減少すると考えている。

【委員】 型式を3年型に一本化する場合、入札に参加することができなくなる業者への配慮が必要だと思いがいかがか。

【札幌市】 型式を3年型に一本化するにしても、猶予期間として、一定期間は2型式での運用を継続し、周知を図っていくことを想定している。

【委員長】 アンケート調査では、3年型に一本化すべきとの回答が最も多いとのことだが、考えられる要因はなにか。

【札幌市】 型式が一つの方が制度的に分かりやすいという理由で一本化すべきと回答した企業も一定数いると考えている。

【委員】 型式を変更することによって、入札参加者側の手間も変わってくるのか。

【札幌市】 入札参加者は、システムを通して成績点を確認することができるため、型式を変更したとしても、特段の影響はないと考えている。

【委員長】 今後、成績重視型入札の発注件数は増えていくのか。

【札幌市】 総合評価落札方式では、過去5年間の成績点を評価対象としているため、評価対象期間が重複している5年型については、総合評価落札方式の拡大に伴い、発注件数が減少すると考えている。

【委員】 猶予期間として、当面の間は2型式で運用することだが、3年型を2年型に戻すことになるのか。

【札幌市】 3年型については、試行実施時期が年度の後半だったこともあり、実施件数が少ないため、上期も含めて1年間の入札状況を分析する必要があると考えている。

【委員】 3年型の実施件数が少ないとのことだが、3年型と5年型の2型式での運用を上期若しくは通年で継続し、入札参加者へのアンケートを取った上で、型式の一本化について議論してみてもどうか。

【委員長】 アンケートを実施する際には、回答業者の成績点の保有状況や基準点を満たしているかどうかについても確認する必要がある。

【札幌市】 引き続き、3年型と5年型の2型式での運用を継続し、入札参加者へのアンケート調査を実施の上、型式の一本化等について検証していきたい。

(2) その他

ア 入札・契約制度に関するアンケート調査の結果について報告

イ 総合評価落札方式の改正について報告